



# 総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。  
スポーツ振興くじについてはこちらから

[日本スポーツ振興センターHP] <http://www.jpnsport.go.jp/>

スポーツくじ  

スポーツ振興くじ助成事業

## 特集 公共施設を活用しているクラブ

▶▶▶ 一般社団法人梅坪・浄水スポーツクラブ(愛知県)

特別企画 中学部活動の地域移行を見据えて、  
スポーツ少年団と連携しているクラブ

▶▶▶ うおづスポラ(富山県)

特別企画 スポーツ少年団を母体として活動しているクラブ

▶▶▶ いけだスポーツクラブ(徳島県)

助成金情報 ▶▶▶ 詳細

お知らせ ▶▶▶ 詳細

バックナンバー ▶▶▶ 詳細



公益財団法人

日本スポーツ協会

# 特集

## 公共施設を活用しているクラブ

### 一般社団法人梅坪・浄水スポーツクラブ ＜愛知県豊田市＞

総合型クラブが日常的な活動拠点として、地域における身近な施設である学校施設・公共スポーツ施設・公民館等の社会教育施設を確保することは、クラブの安定的な活動・運営につながります。

そこで今回は、学校施設・公共施設を活用し、地方公共団体等と連携するクラブを紹介します。

#### 1 クラブ概要

##### 当初の2教室から43教室に発展

当クラブは、平成19年に体育指導員（現スポーツ推進委員）や熱意あるスポーツ指導経験者を中心に「うめつぼだいスポーツクラブ（任意団体）」として、地域住民がスポーツを通して、より健康になることを目的に誕生しました。クラブ理念は、「地域のスポーツの応援団として豊かなスポーツライフを実現する」です。近隣の学校施設・地域コミュニティ会議・自治区長ならびに住民の皆様のご協力により、活動の幅を広げることができています。クラブ設立当初2教室から始まった教室事業は、年々順調に増え、現在43教室となり、未就園児から80歳代の高齢者まで幅広い年齢層の方々にご参加いただいております。

##### 指定管理する運動広場に隣接するクラブハウスで運営

人口増加に伴い、平成28年に中学校区が2つに分離し、梅坪・浄水2地区でのクラブ運営となりました。そこで、団体名を公募し、「梅坪・浄水スポーツクラブ」と改名しました。その後、平成30年7月に法人格を取得し、「一般社団法人 梅坪・浄水スポーツクラブ」となりました。また、令和元年10月には、クラブ設立当初から建設計画のあった公共体育施設が完成し、豊田市から指定管理者制度による委任（梅坪浄水運動広場施設管理）を受けることができました。現在の会員数は835名で、スポーツクラブの管理・運営に関わる事務局業務等は、施設管理する梅坪浄水運動広場に隣接するクラブハウス（公有財産借受契約）にて、職員14名と協力し、スポーツクラブの経営・運営（教室・イベント事業/施設管理事業）を行っています。



## 2 指定管理受託を契機に教室事業が拡大

### 小中学校、交流館、区民会館など15会場を活用

豊田市は、平成15年から中学校区単位を目標に総合型地域スポーツクラブの設置を始めました。豊田市の後押しにより、近隣の学校施設・市議会議員・梅坪台コミュニティ会議・自治区長ならびに住民の皆様の協力を得ることができました。そのおかげで、クラブ設立当初から学校開放による施設利用が可能でした。その後も、人口増加に伴い小学校や中学校が増えたこと、運動広場の指定管理を受託できたことにより、現在は小中学校、交流館、区民会館など15の会場にて教室事業等を展開できるようになりました。

### 【施設活用の具体的事例】

学校施設・公共施設を活用させていただき実施している教室を対象別に一部ご紹介します。

	クラブ ハウス	運動 広場	小学校	中学校	高等専 門学校	区民 会館	交流館 (公民館)
<b>1) 小さいお子さんが対象の教室</b>							
親子リズム遊び教室	○						
サッカー教室		○					
<b>2) 小学生が対象の教室</b>							
サッカー・軟式野球		○					
ドッチボール・硬式テニス・ バドミントン			○				
ダンス教室・チアダンス	○						
<b>3) 中学生が対象の教室</b>							
サッカー・軟式野球		○					
ソフトテニス・硬式テニス・卓球				○			
<b>4) 高校生以上、成人が対象の教室</b>							
軟式テニス					○		
ヨガ・リンパドレナージュ	○						
<b>5) 高齢者が対象の教室</b>							
健康教室						○	
バランスボール・スポーツウェル ネス吹矢	○						
ポールウォーキング							○



交流館でのウォーキングイベントの様子



中学校の多目的ホールでの卓球教室の様子

### 3 参加者に大きなメリット より良い運営に課題も

#### 【公共施設を活用することで生まれたメリット】

1. 健康教室などは複数の区民会館において実施が可能となり、参加者はより近い施設で開催される教室に参加できるようになりました。
2. 各施設には十分な駐車場が完備されていますので、自家用車で来場される教室参加者の駐車場の心配がなくなりました。
3. 利用できる施設が多くなったことで、教室・イベントの募集チラシを各施設においていただけることによる広告効果の向上につながっています。

一方で、公共施設を使用することの問題点や課題もあります。他の団体との施設利用調整が必要なことです。確保したい時間帯が取れない場合は教室が実施できなかつたり、新たな教室展開を試みても利用場所が確保できなかつたりすることがあるため、定例会議に欠かさず参加し、施設の確保に取り組んでいます。また、今後は同じ地区内の他のスポーツクラブと連携し、活動場所の確保に取り組むことも検討しています。

#### 地区小中学生の16%が会員

現在のクラブ会員数は835名であり、梅坪・浄水地域の人口の約3%となります。そのうち480名が小中学生であり、これは当地区の小中学生の約16%になります。このことは当クラブへの学校や地域のご協力により、子どもたちの会員数の確保につながっていることが分かります。

### 【より良いクラブ運営のための3つの課題】

そして、より良いクラブの運営を継続するためには、現状の当クラブの問題点や課題を追究することも必要であり、それらを挙げるとすれば、以下の3つになります。

#### 1. 指導者の確保＝他団体との連携で指導者派遣システムの構築

今後は指導者の後継者確保が問題となりますが、その対策としては教室やイベントをより多くの人に知ってもらい、参加いただくことにより人材発掘をしていくことです。また、豊田市スポーツ協会、他のスポーツクラブ、各種スポーツ団体、近隣の大学などとの連携を図り、指導者派遣システムの構築ができると良いと考えます。

#### 2. 財源の確保＝協賛依頼と補助金獲得を継続

スポーツクラブ運営には財源確保が必須ですが、教室・イベント事業からの収益を増やすためには、参加者の増加や参加費の値上げが必要となり限界があります。そこで、財源確保の手段として、管理費確保のための企業への協賛依頼、イベント運営のための補助金獲得を継続していく予定です。

#### 3. コロナ禍での運営＝持続可能なクラブ運営を

コロナ禍におけるスポーツクラブ運営は大変困難です。しかし、持続可能なクラブとして今後も活動していくためには、こうした困難を乗り越えていく必要があります。当クラブは社会的信用を得るため法人化したことにより、国や自治体などの持続化給付金を申請し、受給することができました。今後も不測の事態に備え、それらを乗り越えるために、多くの方々の協力を得ることで、持続可能な総合型地域スポーツクラブを運営していきます。

## 4 教室に参加したくなる環境づくりが大切

### コロナ禍でも「街探検ウォーキング」を年末に開催

当クラブの今後の目標は、引き続き子どもの運動する場を提供するとともに、中高齢者の会員増に努めることです。現在、年に1回ですが約1カ月間「街探検ウォーキング」というイベントを年末に実施しています。コロナ対策を行いながら実施できるイベントとして、より多くの参加者を募るためにスタッフが企画会議を重ねて実現したものです。

### 非会員も参加 市補助金で参加費無料

このイベントは、地域の施設や公園などに足を運んでもらい、キーワードのチェックや謎解きをしてもらう企画です。会員も非会員も参加でき、歩くことで参加賞などがもらえます。市の補助金により参加費は無料です。この企画により、参加された方の中には、「初めてここに来ました」「楽しい企画でした」という声が得られ、広告活動となるイベントがこの2年間実施できました。このように、当クラブを知らない地域の人たちがクラブハウスに来て、総合型地域スポーツクラブの存在を知ると同時に、チラシやポスターを目にして、何か教室に参加してみようと思ってもらえる環境づくりが大切だと考えます。

### アンケート等で参加者の要望を調査→新教室立ち上げのヒントに

現在は、1人で複数の教室に参加されている会員様もおり、このような複数教室参加会員が増えることでスポーツクラブ全体の教室参加者数の増加につながります。さらに教室やイベント後に、参加者の要望を吸い上げるためのアンケートや聞き取りを行うことにより、新たな教室を立ち上げるヒントを得る工夫をすることで、スタッフだけでなく参加者を巻き込んだ、みんなでつくり上げるスポーツクラブを目指していきたいと考えております。

(一般社団法人梅坪・浄水スポーツクラブ 事務局長 土田 洋)



年2回以上発行しているクラブだより  
(A4サイズ4枚分)の表紙上部



当クラブのサッカーチームは豊田市内の大会で好成績を連発



各種教室のご案内を当クラブHPにて掲載

ゆるコアリスム 月部4名曜日 19時45分～20時45分 クラブハウス	バレトン 毎月練習 週水曜日 18時25分～19時25分 クラブハウス	ベーンタックヨガ日曜日コース 10時～11時 クラブハウス	イスYOGA日曜日コース 10時～11時 クラブハウス	大人のバドミントンクラブ 日曜日 10時～12時 浄水小学校
エンジョイ様式テニス 日曜日 10時45分～12時45分 高梁 浄水北小	クロスミントン 曜日・日曜日他 毎 坪台中・菓子山小・浄水北小	ゆるスズひろば 第1・3本曜日 9時30分～11時30分 運動広場	ボールウォーキング 第1土曜日 9時15分 協会 浄水交流館前	スノーシューエルネス 吹矢 第2・4土曜日 13時～15時 クラブハウス

イベント「街探検ウォーキング」のお楽しみ抽選会の粗品贈呈などの様子

## クラブプロフィール

- 設立年月日** 平成19年8月26日(平成30年7月2日法人登記)
- 所在地** 愛知県豊田市高原町7丁目22番地1
- 運営** 会員数835名(令和4年2月現在)、予算規模34,775,000円(令和3年度)
- 特徴**
1. 多世代、多種目、多志向が実現できている幅広い事業展開
  2. 地域の学校や地元メディアの協力が得られている広報活動
  3. 運営に必要な研修会などへの参加をサポートできる組織体制
- 連絡先**
- 〒471-0069 豊田市高原町7丁目22番地1
- TEL 0565-32-2741 FAX 0565-32-3577
- URL <http://www.umedai-sc.jp/publics/index/84/>
- E-Mail [info@umedai-sc.jp](mailto:info@umedai-sc.jp)

## 特別企画

### 中学部活動の地域移行を見据えて、 スポーツ少年団と連携しているクラブ

#### うおづスポラ ＜富山県魚津市＞

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのために、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等と相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根差す団体となる必要があります。

そこで今回は、スポーツ少年団と連携し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。

#### 1 クラブ概要

うおづスポラ(以下スポラ)は、市内公共スポーツ施設を一括管理する公益財団法人魚津市体育協会により設立された総合型地域スポーツクラブです。設立当初は、管理施設の利用促進を主目的とし、ニーズに沿った教室事業開催に努め、クラブの基礎となる利用会員と財源の確保に努めてきました。

##### ★クラブのミッションは「市民の健康増進とコミュニティーの創出」

管理施設のみならず、市内スポーツ振興の中心的な役割を担えるクラブに成長することが、スポラの使命だと考えております。

##### ★体育協会による「安心・安全な施設管理」の下、スポラによる「スポーツ振興」

ハード面とソフト面でそれぞれの役割を明確にすることで、スタッフ一丸となった運営に取り組むことが可能となります。

##### 年間30教室開催 スポ少チームのサポートも

市民のニーズに沿った事業運営を心掛け、年間30教室の開催、月1回ペースでのイベント開催、7競技のクラブチーム(スポーツ少年団含む)サポートなどを通して、市内での認知度の広がりを実感しております。それに伴い、拠点施設での安定的なクラブ運営が可能となってきました。



拠点施設で積み上げる実績はクラブの基礎であり宝物です。それら積み上げてきた基礎を地域に広げることがスポラの「スポーツ振興計画第2章！」となり、現在進行形でクラブ運営に取り組んでいます。

地域団体との積極的な関わりにより、互いに知恵を出し合い、互いの弱点を補いながら、相互にメリットのある事業開催を心掛けております。

現在、スポラの会員数は770名ですが、会員数以上に市民との関わりを実感しております。

## 2 陸上・バドミントンなど7チームの運営を支援

ニーズに応じ「多項目体験型」から「専門性の高い教室」にシフト

魚津市には、15種目27団のスポーツ少年団があります。現在、スポラでは、陸上・バドミントン・卓球等7チームのサポートを実施し、普及振興と競技力向上を目指して、共に運営に取り組んでいます。

スポーツ少年団には、当クラブが主催する低学年を対象とした多項目体験教室への、スポーツ少年団登録指導者派遣による事業運営にご協力をお願いしてまいりました。色々な競技体験を通して、「自分のやってみたいスポーツを見つけてみよう」というコンセプトのもと、相互にメリットの生まれる事業として10数年にわたり事業運営をしてきました。

時代の変化によるものでしょうか。いつしか、多項目体験教室のニーズが無くなり、単一種目教室の需要が高まってきました。興味のあるスポーツをじっくりやりたいという要望に応える形で、当クラブの事業も体験型教室からより質を求めた専門性の高い教室展開にシフトしました。

ジュニア教室の改編を機に、当クラブの会員数は増加傾向となり、安定したクラブ運営が可能となりました。ニーズに素早く対応した成果だと考えています。しかし、クラブの会員数が増加傾向に転じたことを機に、スポーツ少年団の団員が減少傾向となりました。



小中一貫指導の陸上スポーツ少年団「MT.SUPOLA」



小学生のバドミントンスポーツ少年団「魚津ジュニアバドミントン」

### 利用小学生会員にはスポ少登録への選択肢も クラブとスポ少は兄弟関係

スポラの利用会員は、年々更新登録をしてくれる子どもたちが増えています。クラブ単体で考えた時に、それは大変うれしいことではありますが、小学生の利用会員には生涯スポーツとして実施しているスポラでのスポーツ活動の他に、競技スポーツとしてより夢中にスポーツに打ち込むことができるスポーツ少年団への登録移行という選択肢も提案できることが理想と考えています。

なぜなら、総合型クラブとスポーツ少年団の母体が同じ市体育協会であり、関係性で言えば兄弟のようなものです。市内公共スポーツ施設の指定管理業務を受託している市体協としては、カラーの異なる兄弟ではあるもののスポーツ振興という観点では共通のビジョンを描く団体です。

### スポーツ振興に向けスポ少との連携は不可欠

スポラの幼児・小学生会員のみなさんは、当市におけるスポーツ振興の宝物です。その子どもたちにスポーツの楽しさ・コミュニティーの創出・勝つ喜びなど、より多くの経験ができる選択肢を与えてあげることが必要だと考えており、総合型クラブとスポーツ少年団の連携は不可欠であると考えています。現実問題として、スポーツ少年団が受け皿になれていないのが現状で、互いの共通理解がまだまだ必要です。

### 活動施設が無くなったスポ少をサポートチームとして受け入れ

公共施設再編により、スポーツ少年団の子どもたちが常日頃から活動していた施設が一つ無くなりました。少子化、コロナ禍…。あまりいい話が無い現代において、先行きが見通せないことばかりです。しかし、こんな時だからこそ危機感を持ち、他市町村でもありそうな相互がモヤモヤしている色々な話を前に進めることができます。

スポラでは、活動施設を失ったり、もっと活発に活動をしたいと考えているスポーツ少年団などをサポートチームとして受け入れています。また、スポーツ少年団事務局との共同主催によるイベントの開催や団への指導者派遣等を通じて、総合型クラブとスポーツ少年団との関わりを年々深めております。

サポートチームとして受け入れる団には、「競技団体の理解を得ていること」「普及教室を開催すること」「中学部活動を視野に入れた指導」等をスポラから団への要望として提示しております。

## 3 施設確保・広報活動等でスポ少側にメリット

サポートチームに所属する団員は、スポーツ少年団登録とスポラへの会員登録が必要となります。そこで、「負担増になることで何が変わるのか」という話になります。これまで以上に団活動が活発になるように下記内容の支援を実施しています。

## 具体的なサポート内容

### ■「日々の活動場所確保」

より良い活動ができるようにスポーツ少年団とクラブで活動場所の確保に努めています。現在、コロナ禍ということもあり人数の多い団では、全団員がそろって練習することが厳しい状況です。できる限り練習日を確保できるように、クラブから別会場の提案をしたりしています。

### ■「広報活動」

安定した団員確保に向けて、クラブのHPやSNS等を活用して団の紹介や活動の様子を広く周知しています。団単体では情報の拡散がなかなか困難なため、クラブも共に情報発信に努めています。

### ■「物品(備品)支援」

クラブが所有するスポーツ備品等を自由に活用することができ、日々の練習がバリエーション豊かになるよう活用してもらっています。また、登録団員数に応じて、各団で使用する消耗備品の購入補助を実施しています。

## クラブの支援で団保護者会の負担軽減に

各団が保護者会を中心に独自に施設確保や広報活動に取り組んできたわけですが、スポラが支援することで、保護者会の負担を減らすことができました。

また、スポラが長年こだわってきた広報力を活用することにより、団活動の様子や団員募集等の情報を拡散することが、これまで以上に可能となりました。少子化による団員確保が年々難しくなる中、広報による支援は、とても大きなメリットとなりました。

## 市体協母体のメリット生かし指導者を確保

さらに普及教室を実施することにより団員確保の機会をつくり、普及教室の指導には、団指導者の他、競技団体からの指導者派遣により指導者の確保に努めております。市体協が母体であることのメリットを最大限に生かした形であると考えております。

それぞれの団体が独自に活動していた時代から、総合型クラブを中心(きっかけ)に当市のジュニアスポーツは変わろうとしています。これらの取り組みを基礎として、さらに広がりを見せることに期待しています。

ただ、サポートするチームが増えることで「これまで同様の支援ができるか」となると、また難しい課題となるのが現実です。今後、スポーツ少年団との共通理解をより深めた中での運営が求められてくるものと考えています。



陸上スポ少の普及教室「かけっこスクール」



スポラ会員とスポ少団員との交流イベント

## 4 「中学部活動の地域移行」に対応できるクラブを目指す

ジュニアスポーツにおいて、現在全国的に話題となっている「中学部活動の地域移行」に対応できるクラブになることが目標です。

### 中学部活動の指導を視野にスポ少と取り組む

これまでご紹介したスポーツ少年団との新たな取り組みは、中学部活動の指導を視野に入れた新たな形づくりの一つです。中学部活動の地域移行については、当市においてまだまだ議論が深まっていないのが現状であり、今後どういう方向性が示されるかまだ分かりません。ただ、当然のことながらこれから先、長期的な指導体制が求められてくることは間違いありません。

スポラでは、小中一貫指導による組織づくりが安定的指導体制へつながるものと考えており、まずは小学生世代までの盤石な基礎づくりに取り組んでいます。

### スポラの活動が契機となり、スポーツ環境に変化の兆し

しかし、支える側の数にも限界があり、小さな町では個々の団体にできることには限りがあります。体協・総合型クラブ・競技団体・スポーツ少年団などスポーツ団体は多数ありますが、同じ目的に向かうためには、まだまだ課題は山積みです。しかし、スポラの活動がきっかけとなり、市のスポーツ環境が変わろうとする兆しが出てきました。スポラは今後も地道にコツコツと体制づくりに取り組んでいきます。

(うおづスポラ クラブマネジャー 澤田 樹孝)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成16年3月14日

**所在地** 富山県魚津市北鬼江2898-3

**運営** 会員数770名(令和4年2月現在)、予算規模1,100万円(令和3年度)

**特徴**

- ▶市内公共スポーツ施設を一括管理する(公財)魚津市体育協会が運営する総合型地域スポーツクラブ
- ▶多世代を対象に教室・サークル・クラブチーム活動等幅広く活動を展開
- ▶魚津市内全域を対象とした事業運営

**連絡先** 〒937-0066 富山県魚津市北鬼江2898-3 ありそドーム内

TEL 0765-23-9800 FAX 0765-23-9802

URL <https://spo-uozu.com/supola/>

E-Mail [u-supola@spo-uozu.com](mailto:u-supola@spo-uozu.com)

## 特別企画

### スポーツ少年団を母体として活動しているクラブ

## いけだスポーツクラブ 〈徳島県三好市〉

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのために、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等と相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根差す団体となる必要があります。

そこで今回は、スポーツ少年団を母体として活動し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。

### 1 クラブ概要

- 平成12年より取り組みを始め、平成16年3月設立しました。  
地域スポーツの文化が維持できなくなる危機を迎え、“危機”を“チャンス”と捉え、スポーツを通じて生きがいのある生活と活力ある地域の連携を促進していくことのできるクラブづくりを目指し、まちづくりの具体的方策として立ち上げました。
- 教室 11教室(県立高校・医療施設連携含む)
- 会員 235人
- 指導者 22人(有資格18人、無資格4人)＝全員有償
- 事務局 4人(クラブマネジャー1人、アシスタントクラブマネジャー1人)＝常勤・有償  
他にも、公認スポーツ指導者だけでなく、指定管理等を受けるため防火管理者・公認スポーツ施設管理士らが在籍しています。その方々のためにクラブで費用を負担し、育成・スキルアップを図っています。

## 2

## 少年団・学校と連携し、 小中高生の相互交流イベント実施

### 『スポーツマーケット』～少年団・学校との連携～

スポーツマーケットとは、小・中・高校と卒業を契機に途切れてしまうスポーツ活動を見直し、少年団リーダー会を中心に取り組んでいるスポーツ体験イベントです。青少年のスポーツ環境を整備することは、いけだスポーツクラブ立ち上げの原点でもあります。それは少年団だけではできない事案でもあり、総合型クラブを活用すべきと考えます。当クラブが役割分担として少年団に関わることで、環境整備をより推進できるとの判断から、少年団との連携に取り組むようになりました。

『スポーツマーケット』は、少年団が主となり運営をしており、学校は周知活動(小・中学校)やスタッフ(高校)としての生徒派遣を行っています。クラブ側は、人材派遣でサポートし、周知活動にも寄与しています。

### 高校生リーダーが中心となり企画・運営 大人は後方支援

この連携は「小・中・高校生のスポーツ活動継続支援事業」です。学校の協力を仰ぎながら、少年団員だけでなく市内の小中学生に呼びかけを行い、高校生のリーダーたちが中心となって作成した、様々なスポーツの体験ブースに参加してもらうことで、小中高校生の相互交流を行っています。リードアップするのは三好市スポーツ少年団に設置されたリーダー会で、指導者・高校教員・クラブスタッフはプログラムのコンセプトだけをアドバイスし、後方支援に徹しています。高校生リーダーは、参加してくれる運動部に交渉し、ディスカッションしながら、企画したプログラムを彼ら自身で役割分担して、集合から解散までの全てを担います。

### 少年団員にとって貴重な実体験の場に

このイベントを通して、単に多様な年代とスポーツを楽しむだけでなく、教えたり、教えられたりするような交流を深める中で、小中学生の面倒を見るということや、高校生に対して憧れや敬意を払うといった社会的相互作用が促進され、社会の好循環につながります。スポーツ少年団員にとっても日ごろ体験できないような学習の場となり、地域とのつながりを実体験できているようです。



～スポーツマーケット～  
高校生と他の少年団・学校の人たちとスポーツ



～スポーツマーケット～  
小さな子どもたちと同じ目線で、手を添えて、優しく対応

### 3

## 高校生リーダーに地域愛 クラブ側には持続的人材育成の効果

相互交流イベントを実施することで少年団の理念に沿った理解が進み、関わったリーダーの高校生達には、地域愛が芽生えます。将来ふるさとに戻り、クラブをはじめ地域スポーツ振興に関われる進路を選択する高校生もいます。また、学校教員の方々にも人材育成にご尽力いただけるようになりました。クラブ側にとっては、次世代の人材が、持続的に育成できるようになっている点が大きな効果と言えます。

### 次世代の人材育成の役割担う少年団活動

スポーツ少年団活動は、単に小学生対象にスポーツ活動だけを行う組織ではなく、地域を支える次世代の人材育成の役割を担う組織でもあります。交流イベントを実施することで、少年団指導者・保護者・チラシ配布等協力いただく学校・行政、そして高校の教員の方々に、スポーツ少年団活動が次世代の人材育成につながっていることへの理解が深まるという効果が生まれております。

### 高校生の進路選択に好影響 スポーツ指導者への道を選ぶ生徒も

地域と関わる事業を体験してきた高校生の中には、「生涯スポーツの指導者を目指したい」「スポーツを通して地域が活性化されるようなことに関わりたい」という志を持って進路を選択する生徒もいます。一方、高校側でも指導者育成に理解が進み、進学した高校生は一様に「ここが好きです、卒業したら帰ってきたいです」とすがすがしい顔で巣立っていきました。

スポーツの力やスポーツで人をつなぐスポーツ少年団の仕組みが拡充できるよう、連携してクラブづくりに生かしています。

### 4

## 指導者の確保、活動種目の拡充等が今後の課題

### 関係組織とのネットワーク強化で地域に寄与するクラブづくりを

今後の課題としては、持続的な人材育成や、円滑な事業運営・展開をしていくためのビジョンを作成し、指導者の確保(育成)や活動種目の拡充など多々あります。各関係団体・機関とのネットワークを強化し、地域に果たすミッションや仕組みを見直し・拡充して、地域住民の健康・スポーツ振興のよりどころとして長く続けていけるクラブづくりを目指しています。現在は、その足固めをしている状況です。

## コロナ禍で制限ある中、スポーツ環境の提供に努力

新型コロナウイルス感染拡大防止等により、クラブも少年団の活動にも制限がかかる日々ですが、工夫をして、地域住民やスポーツ少年団員らが伸び伸びとスポーツに親しめる環境を提供できるよう努力してまいります。

(いけだスポーツクラブ クラブマネジャー 大西 真知子)

### クラブプロフィール

<b>設立年月日</b>	平成16年3月16日
<b>所在地</b>	徳島県三好市池田町マチ2551番地1
<b>運営</b>	会員数235名(令和3年12月現在)、予算規模2,700万(令和3年度)
<b>特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちのことは自分たちで、</li><li>・必要な経費は出し合いながら、</li><li>・楽しかったことはお返して、未来の子どもたちのために</li></ul>
<b>連絡先</b>	〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2551-1 三好市池田総合体育館内 TEL 08883-72-5755 FAX 0883-72-5765 URL <a href="http://cn05.awaikeda.net/~ikesupo/index.html">http://cn05.awaikeda.net/~ikesupo/index.html</a> E-Mail <a href="mailto:ikesupo@05.awaikeda.net">ikesupo@05.awaikeda.net</a>



## 助成金情報

### ヨネックススポーツ振興財団 2022年度助成金

**[実施団体] (公財)ヨネックススポーツ振興財団**

ジュニアスポーツ振興助成事業(全スポーツ競技)

全てのスポーツ競技において、ジュニアスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ当該団体としての活動を実施している団体を対象とします。

**[申込期間]**

後期 対象期間: 2022年10月1日～2023年3月31日の事業

申請期限: 2022年6月20日(当日消印有効)

交付決定: 2022年9月1日頃(予定)

交付申請要領をご確認いただき、助成金交付申請書等を提出してください。

<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>





# お知らせ

## 日本スポーツ協会情報

### 総合型地域スポーツクラブ全国協議会 男女共同参画部会に関するページを公開！

令和3年度、総合型地域スポーツクラブ全国協議会の専門部会として男女共同参画部会を設置しました。

令和3年度は、都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等を対象に、総合型クラブにおける男女共同参画に関する調査を実施しました。この度、調査報告書をHPにて公開しましたので、ご覧ください。

<日本スポーツ協会HP 男女共同参画部会>

- 総合型地域スポーツクラブ全国協議会男女共同参画部会  
<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1346.html>

## スポーツ庁情報

### モデル事業の募集！誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業 (学校体育施設の有効活用推進事業)公募開始

スポーツ庁では、スポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について、地域スポーツの場としての有効活用を推進するため、持続可能な仕組みのモデル事例を実証実験を通じて構築する委託事業を令和2年度より実施しており、令和4年度についても公募を開始しました！

令和4年度は、3つの重点テーマに沿った企画を募集しております。ご関心のある者は以下、「公募概要」及びスポーツ庁HPをご確認のうえ、奮って応募ください！

#### 【公募概要】

1. 事業名：令和4年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」
2. 事業の内容：「学校体育施設を地域スポーツの場として活用する持続可能な仕組みの検討」「学校体育施設の有効活用に関する手引き」を踏まえ、地方公共団体のスポーツ担当部局や教育委員会、学校、スポーツ団体、地域団体、民間企業等の関係者が連携して学校体育施設を地域スポーツの場として有効活用する仕組みについて、関係者の意見聴取等により検討を行う。
3. テーマ：次の3つのうち少なくとも1つを含むものとする。
  - ① 一定の収益活動の導入と収益還元による事業の持続性向上
  - ② デジタル技術の活用による利便性向上、学校等の負担軽減
  - ③ 水泳プール、テニスコート又は武道館の開放促進
4. 委託先：地方公共団体及び法人格を有する団体

5. 成果のとりまとめ:事業の成果を報告書としてとりまとめ、後日スポーツ庁HPに掲載するほか、令和5年2月頃に開催予定の委託事業成果報告会での成果報告も併せて行う
6. 応募締め切り:令和4年4月18日(月)17時まで

※詳細は以下をご確認ください。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/boshu/detail/jsa\\_00115.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00115.html)

※「学校体育施設の有効活用に関する手引き」や過年度の委託事業については、以下をご覧ください。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop02/list/1380329\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1380329_00001.htm)